

第2次 安城市エコサイクルシティ計画



第8次
安城市総合計画

平成28年度(2016年度)～平成35年度(2023年度)



目 次

第 1 章 計画策定にあたって.....	1
1 計画の目的.....	1
2 計画の位置づけ.....	2
3 計画の構成と期間.....	3
(1) 計画書の構成.....	3
(2) 計画の期間.....	3
4 自転車の特性.....	4
(1) 自転車の長所.....	4
(2) 自転車の短所.....	5
5 自転車を取り巻く状況.....	8
(1) 全国的な自転車利用の動向.....	8
(2) 国・県の自転車利用に関する取組.....	13
第 2 章 安城市における交通の現状.....	16
1 クルマ.....	16
2 鉄道.....	18
3 バス.....	19
4 自転車.....	20
(1) 本市の特性と自転車.....	20
(2) 本市の自転車利用に関する取組.....	22
(3) 自転車利用の状況.....	26
(4) 自転車利用に関する意識.....	29
5 交通安全.....	31
6 交通の現状にみる自転車利用の課題.....	32
第 3 章 エコサイクルシティ計画がめざすもの.....	34

第4章 基本方針	36
1 計画の目標値	36
2 基本方針	36
方針1 意識づくり	37
方針2 空間づくり	37
方針3 しくみづくり	37
 第5章 基本計画	 38
1 施策体系	38
2 具体的な取組	40
方針1 意識づくり	40
(1) “健幸” づくりのための自転車の利用促進に向けたきっかけづくり ～きづく～	40
(2) 自転車を正しく利用するための意識づくり ～まもる～	48
方針2 空間づくり	52
(1) 安全で快適な走行空間づくり ～はしる～	52
(2) 安心で便利な駐輪空間づくり ～とめる～	60
方針3 しくみづくり	62
(1) 自転車利用の利便性を高めるためのしくみづくり ～つかう～	62
(2) クルマからの転換を促進するしくみづくり ～かわる～	64
計画推進	67
市民・事業者・行政の協働による自転車まちづくり	67
計画推進体制	68
 第6章 計画の実現に向けた推進スケジュール	 70
1 意識づくり	70
2 空間づくり	71
3 しくみづくり	72
計画推進	72

基本理念に掲げる「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」は、「健康」「環境」「経済」「きずな」「こども」の5つの要素の質を高める取組の先に見えてくるものです。とりわけ、多くの市民が「幸せ」の実感と自分や家族の健康に強い関連性を感じており、そこに健康で幸せに暮らすことを願う想いを見て取ることができます。

また、本市においても、高齢化は着実に進行しており、平成32年(2020年)には高齢化率が21%を超え、超高齢社会へ突入する見込みです。市民がいつまでも住みなれた地域で自立した幸せな人生を歩むためにも、健康寿命の延伸を図る必要性が高まっています。

そこで、本計画では、5つの要素のうち「健康」を軸に据え、「健幸」のまちづくりを推進していきます。

「健幸」とは市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「生きがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。

自分が健康でありたい。そして、家族も健康であって欲しい。この率直な願いが、自分や家族の「幸せ」につながると気付いた瞬間に、人々は意識や行動を変えるための一歩を踏み出すことができるでしょう。

「健幸」の意識が、家族や友人、職場や地域社会に広くつながり、「幸せ」を分かち合うことへと発展することが「健幸都市」の姿です。

安城市は、すべての政策分野に「健康」の視点を取り入れるとともに、「環境」への取組を継続し、活力ある「経済」を生かし、伝統的な地域の「きずな」を継承し、社会全体で「こども」を育むまちづくりを進めることにより、「健幸都市」の実現を目指します。

第8次安城市総合計画

第8次 安城市総合計画

平成28年度(2016年度)～平成35年度(2023年度)

